

## はじめに

わたしたちのまわりには、いろいろなちがいをもち人がいます。字が見えにくい人、急に声をかけられるとびっくりしてしまう人、説明だけではイメージしにくい人……。しかし、そんな困りごとは、じつはだれにでも少しずつあるものです。

だからこそ、「どうしたらみんなが使いやすいかな?」「こうしたら、もっと学びやすいかも」と、自分も含めた「みんなのこと」として考えてみるのが大切です。

こうした「みんなにとっての使いやすさ」をめざす考え方を、ユニバーサルデザインといいます。

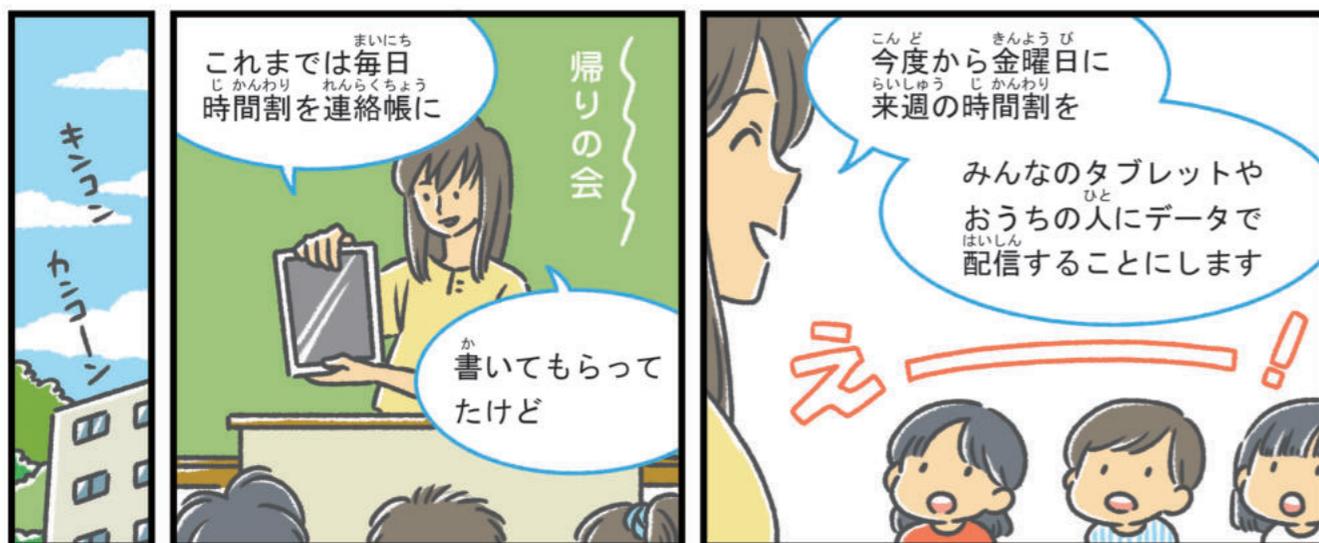
そしてこれは、障がいや困難のある人のためだけの特別なくふうではありません。一人の困りごとをていねいに考えることで、結果としてクラスみんなが助かるようになる——それがユニバーサルデザインなのです。

この本では、今日からできる「教室でのくふう」を紹介しています。あなたの小さな気づきが、だれかの「できた!」につながり、教室をもっと心地よい場所にしていけばいいです。

## もくじ

みんなが気づき合ってつくる「ユニバーサルデザイン」	2
はじめに	4
<b>「だれか」じゃなく「みんな」のためのくふう</b>	6
みんなにやさしい「ユニバーサルデザイン」	8
世の中にあるユニバーサルデザイン	10
<b>「見える」とわかりやすい!</b>	12
「使いやすさ」はみんなのもの	14
障がいのある人と考えるユニバーサルデザイン	16
<b>みんなでユニバーサルデザインを考えてみよう!</b>	18
<b>ユニバーサルデザインを考えよう ケース 1</b>	
「見える化」してみよう	20
<b>ユニバーサルデザインを考えよう ケース 2</b>	
授業でのユニバーサルデザイン	22
<b>ユニバーサルデザインを考えよう ケース 3</b>	
教室の環境におけるユニバーサルデザイン	24
<b>ユニバーサルデザインを考えよう ケース 4</b>	
言葉のユニバーサルデザイン	26
<b>ユニバーサルデザインを考えよう ケース 5</b>	
情報を伝えるときのユニバーサルデザイン	28
災害のときにもいきる「合理的配慮」	30
さくいん	31

「だれか」じゃなく  
「みんな」のためのくふう



ユニバーサル  
デザインを  
考えよう

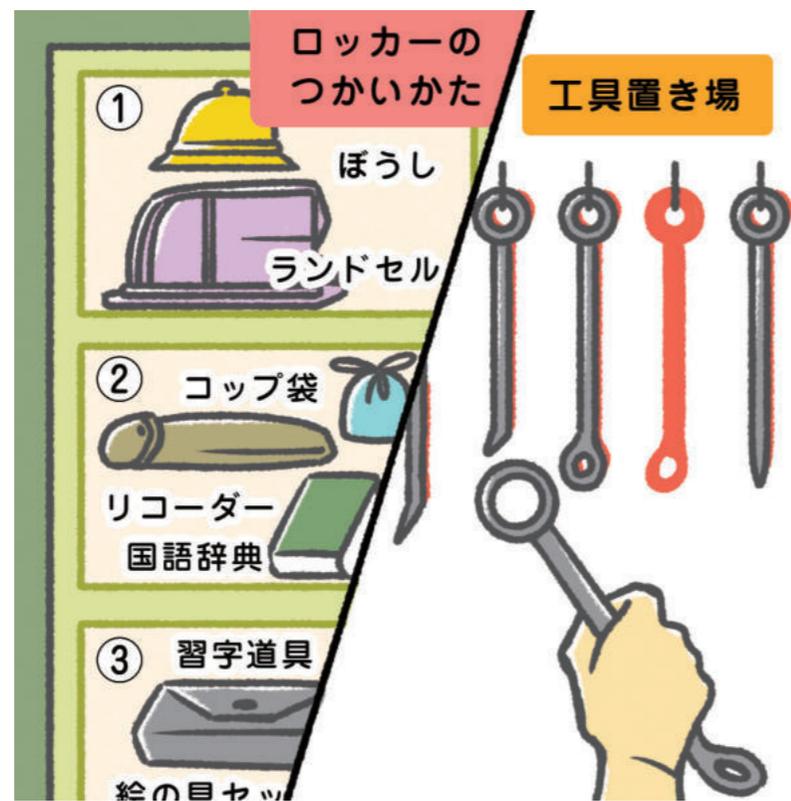
ケース  
3

ユニバーサルデザイン  
教室の環境における

みんなが自信をもって自分の力で考え、動き、学びやすくなるように、教室の環境づくりで、ユニバーサルデザインの考え方が取り入れられています。

かた せい ず しゃ しん せつ めい  
片づけや整頓は図や写真で説明する

せい しかた ず しゃ しん しめ こと ば せつ めい  
整頓の仕方を図や写真で示すと、言葉で説明しなくてもすぐ理解できます。  
み ほん み ながらでも自分でできるようになれば、大きな自信にもつながります。



かんが 考えてみよう

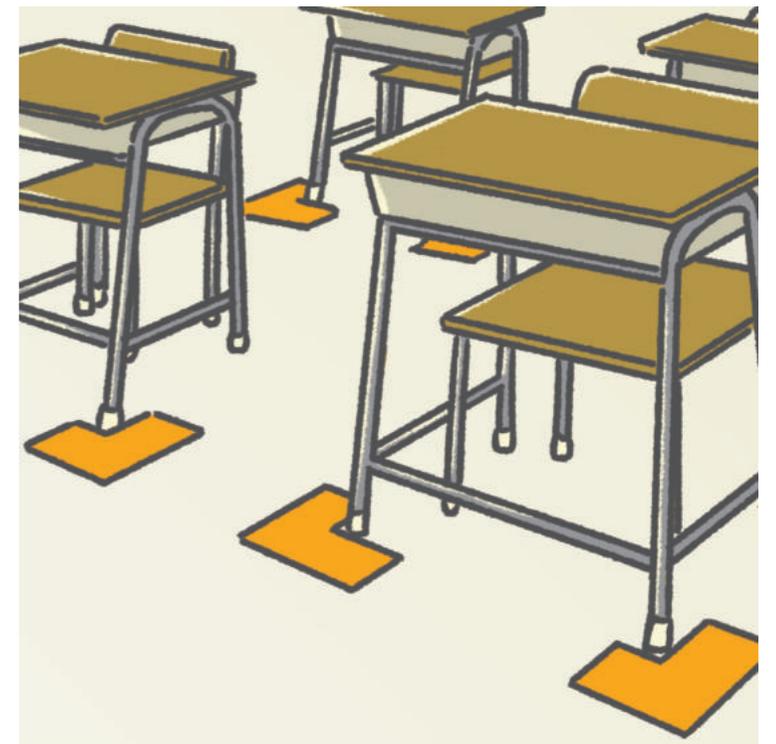
きょうしつ なか つか おも ば しょ  
教室の中で「使いにくい!」と思う場所は?

- ロッカー
- 机の中
- 道具を引っかけのフック
- 配ぜん台
- そのほか

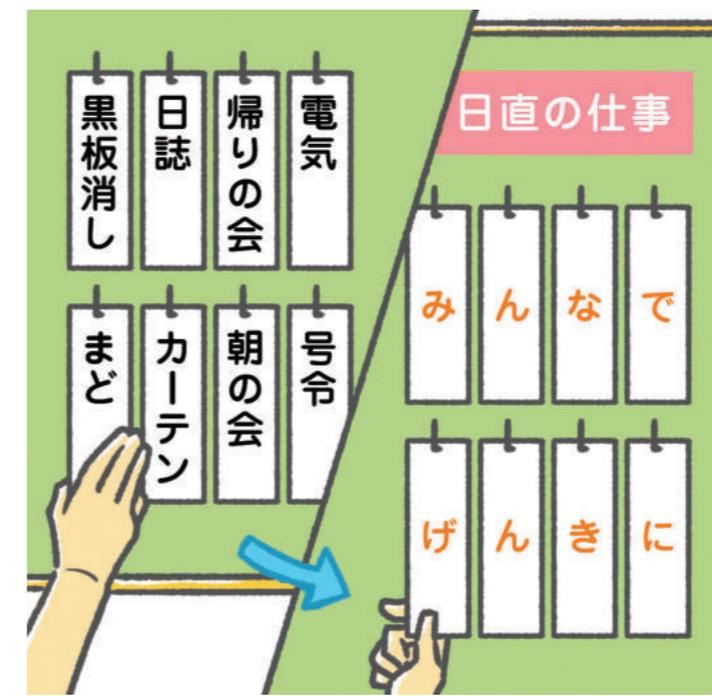
→そこを使いやすいにするなら、どんな方法がぴったりかな?

つくえ なら ぼ しょ  
机を並べる場所を  
マーキングする

そうじのあと、つくえをもとの場所へもどし  
やすいように、床にテープで印をつけて  
おけば、だれでもすぐにもとの位置にも  
どせます。



やったことを  
ひっくり返せば文章に!



「やるべきこと」を  
自分でチェックできる  
ようにする

日直や係などの仕事はやることが多く、  
一度ではなかなか覚えられないこともあります。  
そこで、やるべきことを自分で  
チェックできるしくみをつくると、仕事を  
覚えやすいのはもちろん、やりとげた  
ときの達成感も生まれます。